

近畿部会 市民公開講座

「あなたのお薬を考えよう ―ジェネリック医薬品という選択―」を開催して

第112回日本薬理学会近畿部会 会長 大和谷 厚

第112回日本薬理学会近畿部会開催に合わせて2006年11月16日(金)に市民公開講座を部会会場の千里ライフサイエンスセンターにて開催しました。市民公開講座は、日本薬理学会が主催し薬の正しい使い方などの情報を一般市民の皆様へ提供する啓発活動であり、薬理学会としては重要な位置づけにあります。

今回の市民公開講座では『あなたのお薬を考えよう』と題して、北摂総合病院・理事の中野次郎先生に「―ジェネリック医薬品という選択―」をテーマにご講演頂きました。急激に進む高齢化によって医療費や薬剤費は年々増え続け、我が国の医療保険制度は厳しい状態に置かれています。欧米諸国では医療費抑制のツールとして、先発医薬品と同等と認めた後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進が進められており、医薬品シェアに占める割合が約50%前後となっています。一方、わが国では2006年現在でもわずか17%前後であるのが現状です。近年、厚生労働省はジェネリック医薬品の使用を推進するため、処方箋様式を変更するなどの策を講じており、今後ジェネリック医薬品は普及するものと考えられています。このため、ジェネリック医薬品の使用に関する疑問などを市民の皆様にはわかりやすく説明することを目的として、本講座を企画しました。

講座当日は、北風混じりの少し肌寒い一日であったため、例年の市民公開講座の参加者数よりは少ないものでありましたが、金曜日の午後という時間にもかかわらず、約50名の方にご参加頂きました。本市民公開講座主催であります日本薬理学会を代表して近畿部会長 大和谷の挨拶に続き、大阪大学薬学研究科の馬場明道教授に司会をお願いして、中野先生のご講演を頂きました。中野先生は戦後すぐに渡米され、臨床医療の現場から日米の医療制度の違いについてご覧になられており、ジェネリック医薬品の使用についての著書もあります。中野先生からは「ジェネリック医薬品とは...」について分かりやすくご説明頂き、その後「なぜ日本でジェネリック医薬品の普及が進まないのか」を丁寧に分かりやすいスライドでご講演頂きました。ご参加頂きました市民の皆様にはとても興味の持てる内容であり、ジェネリック医薬品の使用についての啓

(社)日本薬理学会 市民公開講座 あなたのお薬を考えよう

● **日時**
平成19年11月16日(金)
午後3時~4時30分
(受付開始 午後2時30分)

● **会場**
千里ライフサイエンスセンター
5階ライフホール
地下鉄(北大阪急行電鉄)御堂筋線 千里中央駅下車(北出口すぐ)



講演テーマ ジェネリック医薬品という選択

講師 中野次郎先生
(北摂総合病院理事・神戸大学医学部講師
・元オクラホマ大学内科教授)

● **参加受付**
事前の参加申し込みの必要はありません(どなたでも無料でご参加頂けます)。当日午後1時45分からの受付により、先着250名様 入場可能です。

● **お問い合わせ**
大阪大学大学院・医学系研究科・保健学専攻 大和谷 厚
TEL/FAX 06-6879-2562
E-mail : pharmaco@sahs.med.osaka-u.ac.jp
URL : <http://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/~jpskinki/>

主催 (社)日本薬理学会 <http://www.pharmacol.or.jp>
後援 沢井製薬株式会社 <http://www.sawai.co.jp/>

発活動として一役担えたことを祈念しております。

最後になりましたが、本公開講座を開催するにあたり、ご指導およびご協力頂きました関係の先生方、広報にご協力いただいた新聞社、地域コミュニティー誌、吹田ケーブルテレビジョン、ならびに後援頂きました沢井製薬株式会社はこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。
(文責：山本浩一)